

第4回 水端かわまちづくりWGの開催結果

日 時	平成24年11月12日(月) 14:00~17:00			
場 所	亀岡市役所 2階 202・203会議室			
出席者	京都学園大学バ 環境学部 准教授	大西 信弘	グループ長	
	保津町自治会 自治会長	塚田 勇	副グループ長	
	保津町まちづくりビジョン推進会議 会長	石川 清之 中野 恵二		
	亀岡防犯推進委員連絡協議会 会長	十倉 康吉 伊豆田 進		
	亀岡市直売連絡協議会 会長	向條 一郎		
	農事組合法人ほづ 代表理事	酒井 省五 (オブザーバー)		(欠席4名)
	京都府南丹土木事務所 企画調整室 後田副室長、田村副主査	井尻副室長、青木副主査		
	亀岡市 夢ビジョン推進課 浦副課長			
	〃 都市計画課 山内係長			
	〃 都市整備課 的場係長			
	〃 桂川・道路整備課 並河課長、柴田参事、関口係長、竹村主査			(欠席2名)
				(順不同、敬称略)
内 容 (次第)	1) 開 会 2) 議 事 ○前回の振り返り ○基本計画(案)について ○かわまちづくりの運営・維持管理について ○現地視察 ○意見交換(ワークショップ形式) 3) 閉 会			
結 果	○今回の意見を踏まえ基本計画(案)を修正する。 ○次回WGでは基本計画の内容の決定を目指して議論する。 (主な意見) 【基本計画(案)について】 <じゃこ田・湿地エリア> ・じゃこ田の形は円形では管理が大変なので、四角い形にしてほしい ・じゃこ田にかかっている木橋は管理の支障になるので畦に変えてはどうか <多目的広場エリア> ・階段スタンドは隙間から草が生えてこないようにしてほしい <BBQ場+オープンカフェエリア> ・シンボルツリーについては浸水時の影響を考慮し、位置を堤防寄りにはどうか ・水端農園との連携を考慮し多目的広場とBBQ場の位置関係を再検討してはどうか ・浄化センター周辺に水洗トイレを設置してはどうか <じゃこ田・湿地エリア> ・水量に限りがあるので、じゃこ田を優先し、水量の余力次第で湿地を実現してはどうか ・本川への排水部手前でじゃこ田の排水や雨水を溜められるようにすれば、常時湛水している環境をつくれるのではないか ・現在の展望デッキの位置では見通しが悪いため、位置の再考が必要ではないか			

【運営・維持管理について】

<整備の順番と必要となる機材について>

- ・高水敷の掘削完了後、まずは雑草を管理し、様々な活動ができる草原を作る必要がある
- ・広大な面積の雑草管理には処理能力の高い草刈機が必要となる

<地域の取り組みについて>

- ・現在既に行っている地域の取り組みと連携していく
- ・じゃこ田では米だけでなく、浸水に耐えられるマコモダケを作ったり、夏と冬で作付けするものを変えたりしてはどうか
- ・じゃこ田で作った作物で試食会を行うことも考えられる

<協力者について>

- ・事務局案以外の協力団体として、保津町内の「老人会」や「おやじの会」、「保津火祭り保存会」なども考えられる
- ・ビオトープやアユモドキに興味のある大学生なら取り組みに参加してくれるのではないか
- ・取り組みへの参加が学習の機会になれば小中学生も参加してくれるのではないか
- ・プロジェクト保津川や人と自然のネットワークといった保津川で活動されているNPOにも協力を依頼してはどうか

<運営・維持管理を行う組織について>

- ・自治会が中心となって、色々な団体と連携して運営する形が良いのではないか
- ・自治会予算を高水敷の運営に支出することは難しいので、自治会の役割はあくまで関係団体や取り組みのマネジメントだと考える必要がある
- ・維持管理について役割分担すれば、各団体が活動しやすいと思う
- ・じゃこ田の管理はみんなが自然に管理に関われる仕組みが必要だと思う
- ・自治会の役員は4年で変わるので、気持ちが変わらないようにすることが必要である

